



Title	希望
Author(s)	寺阪, 英孝
Citation	全国紙上数学談話会. 1938, 153, p. 55-56
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/74604
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

678. 希 望

寺 阪 英 孝 (阪大)

微恙静養中ノタメ精密ヲ要スルコトハ書ケナイが、此ノ
機會ニ平生カラノ小サイ希望ヲ述ベサセテ頂キタイ。

我國ノヨリニ古來世界ノ文化ヲ吸収コソスレ、之レニ積
極的ナ貢獻ヲスルコトノ稀ダツタ國デハ、國語ノ通用範圍ガ
狭イカラ、科學的勞作ヲ世界文化ノ亮展ニ 10^{-4} デモ微カヲ
盡サウト志ス士ハ、論文ヲ外國語ヲ発表シナケレバナラナ
クッタ。コレハ我々ノ大多數ニトツテ容易ナラス苦痛デアリ負
担デアアル。而モ色盲ノ人が油繪ヲ画イタヌウナ結果ガ落テデ
アラウ。紙上談話會ニ日本語ヲ書ク程度ノ勞カデ論文ガ書ケ
タラドンナニ良イカ。ソノタメニ次ノ様ナ(數學)雜誌ノ出
現ガ最モ望マシイト常々思ツテキルノデアル。

“論文ハ日、英、独、佛、伊及ロ Esperanto デ載セル。
但シ、日本語ハ *Rômaji* トシ、コノ際著者又ハ編輯者
側デ、Esperanto ノ譯又ハ概要ヲ附スル。”

Rômaji ハサテ措キ、*Esperanto* ニツイテハ
議論ガ多イダラウガ、現在國際補助語トシテハ最モ無難ガ
ト思ハレル。編輯者側デモ數學ニ理解アリ、且ツ Esperanto ノ
達者ナ人ト云フノハ養成モソウ困難デナカラウシ、又著者
側カラ云ツテモ習熟ニヨリ比較的タヤスク、自家ノ文体ニ
ヨツテ大膽ニ筆ヲトルコトガ出來得ル利息ガアル。

尤モコノ時局ニ際シ徒ニ歐米人ノ糟粕ヲ嘗メルヲ以

テ潔シトセ又士ハ現在ノ日本語デハ難解ニ過ヤル故、奮起一
番、大アジア語ヲ造ツタヲヨカラウト思フ。コレモ我々理學
者ニ課セラレタレツノテーマカモ知レナイ。此ノ際所謂言語
學者が案外頼ミニナラスコトハ、彼ノ *Jespersen* ノ如
キ大學者ノ考案ニナル *Novial* が、如何ニダラシノナイモ
ノデアルカニ想到セラレヨ。反之、*Zamenhof* ハ醫師、
我が田丸先生ハ物理學者デアツタ。アジア國際語ノ問題ハ戰
後ノ文化工作ニ於テモ重要ナ役割ヲ演ズルノデアルカラ、我
々ノ目下ノ問題トハ別個ニ、忽ニ出來ナイ事柄デモアラユ。

コノ問題ハ暫ラク御預リトシテモ、上記ノ如キ數學雜誌
ハ望マシイモノデアルシ、又實現可能デアル。問題ハ資金ヲ
アレ。

何誰カ此ノ主旨ニ賛成シテ資本ヲ出シテ下サル方ハア
リマセンカ。